

# 市議団速報

e-mail:info@jep-niigata-shigidan.com NO90号

2014年7月3日  
日本共産党  
新潟市議会議員団  
電話 025-226-3450  
FAX 025-223-7748

## 「中小企業振興基本条例」を 全会一致で採択——6月議会

新潟市議会は7月1日、6月議会の最終本会議を開き、議員発議の「中小企業振興基本条例」を全会一致で採択しました。

日本共産党市議団は、新潟市の産業政策が大変弱いことや、市内事業者の99.2%が中小企業であることを踏まえ、「中小企業振興基本条例」の制定について、たびたび質問でも取り上げてきましたが、篠田市長は条例制定に消極的で実現してきませんでした。

そこで党市議団は、独自の条例案を作成するとともに、他党派にも共同をよびかけ、この6月議会には共同提案で条例案を提出し、全会一致で採択されました。

採択された中小企業振興基



本条例は「中小企業の役割の重要性に鑑み、新潟市の中小企業の振興に関する基本的な事項を定めることにより、その基盤の強化及び健全な発展を促進し、産業及び地域社会の発展を図り、豊かで住みよいまちの実現に寄与することを目的とする」と明記しています。

日本共産党の小山哲夫議員は「制定にあたり、他党派との共同を重視してすすめてきた。振興会議の設置など残された課題はあるが、この条例を生きたものにするため、引き続き頑張りたい」と語っています。

### 一般会計補正予算 などに反対

一般会計補正予算及び市税条例の一部改正について、党市議団を代表して風間ルミ子議員が概ね次のような反対討論を行ないました。

一般会計補正予算案の反対理由は、2015年度に「水と土の芸術祭」を実施するた

め、債務負担行為としての2億3,600万円が含まれていることです。

これまで2回開催されたこの事業は、市民理解が得られていないとは到底いえず、とりわけ市民のくらしの現状を考えたとき、多額の税金を使うこの事業を2015年度はもとより、今後も行おうべきかどうかが根本的に問われていると考えます。

ましてや今秋には現市長が交代を示唆している市長選挙もあり、今回の債務負担行為は、あらたな市長がこの「水と土の芸術祭」をどうするか判断を縛ることになります。

新たな市長が仮に実施したいとしても、1年先送りして2016年度開催しても、何ら都合はないものと考えるものです。

市税条例の一部改正についての反対理由は、軽自動車税の税率引き上げなどです。

自動車取得税の引き下げに伴い、代替財源の確保のために、軽自動車や原付・オートバイなどの軽自動車税が大幅に増税されることとなります。新税施行前に駆け込みで買い替えた場合や、買い替えずに大切に乗りつづけた場合にも、最初の新規検査から13年が経過した時点で、一気に1.8倍の増税となる極

めて理不尽なものです。

今回の軽自動車増税は、雇用や経済の面でも困難を抱える地方や郊外の住民ほど負担増の影響が大きく、農業や中小企業の経営にも大きく影響すると考えます。

自動車業界の要望に依って自動車取得税を減税・廃止し、その減収のツケを軽自動車税の増税で賄うことは、市民に対して消費税増税に加えて二重の負担を押しつけるものです。

### 議員団の日程

- 7月3日(木)京都市議団と懇談
- 4日(金)憲法センター集会・デモ
- 8日(火)生存権裁判キャラバン
- 16日(水)新潟市社保協総会
- 20日(日)新潟民商総会
- 26日(土)介護保険シンポジウム

### シンポジウム

「医療・介護総合法で  
私たちのくらしはどうなる!？」

日時 7月26日(土)  
13:30~15:30

会場 ユニゾンプラザ

基調講演/林 泰則さん

全日本民医連事務局次長